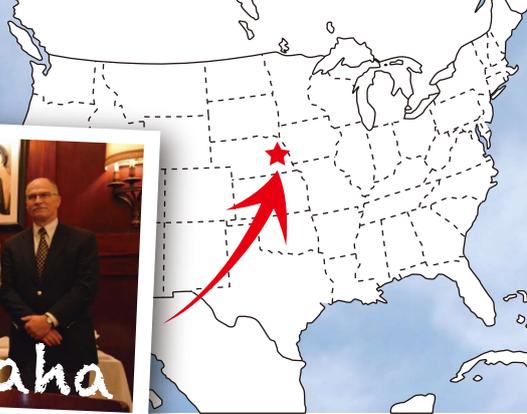


オマハだより

7月26日から28日の3日間、ネブラスカ州オマハにあるクレイトン大学歯学部との全面協力によって行われたオマハ研修(2013PHIJ コース)に参加させて頂きました。クレイトン大学はネブラスカ州の東部に位置する人口41万人の都市オマハにあり、歯学部は2008年のプリンストンレビュー社のカレッジランキングで全米366学部中4位の評価を受けている大学です。



ノートン教授、クレイトン大学歯学部長より修了証の授与



世界の最新医療を学び知識を深めた3日間

ひるま矯正歯科院長 矯正歯科担当医 晝間康明

ひるま矯正歯科は2006年にオーラルフィジシャンセミナーを受講し、その後は98%の患者さんに対しMTMに基づいて矯正治療・一般歯科治療・メインテナンスを行っております。その結果、矯正治療後やメインテナンスによって、う蝕と歯周病のリスクを減少させる事が出来るようになってきました。また、矯正治療前から治療中を通して患者さんとう蝕と歯周病に対するリスクアセスメントとしてのメインテナンスを実践し重要性を伝え、その効果を実感してもらう事によって矯正治療後もメインテナンスに通って頂ける様になってきました。

高まるので質の高い医療を求めめる事です。このような症例に遭遇する度に、メインテナンスで歯を守るためには質の高い治療を提供しなければならぬ、そして自分の専門外の分野でも7割以上の知識を持ち、症例を総合的に管理し質の高い治療を提供するための専門医との連携に責任を持つべきであると強く意識する様になりました。

最新の解剖実習で得たもの

今回のオマハ研修ではインプラントという専門分野を理解する為のもっとも質の高い基礎知識の習得として生体に近い状態の cadaver 解剖実習で貴重な経験を積む事が出来ました。このような実習は日本国内では不可能であり、米国の解剖学の権威である Dr. Norton により条件の整った cadaver を準備して頂く事で実現した実習です。この実習により、基礎および最新の解剖学を学び、インプラントの手法を学ぶ事が出来ました。また、解剖実習に

むけてCTの読影方法、最先端のインプラントに関する研究に関する講義を受け、私の専門分野外の治療に対しても多くの質の高い知識を得る事が出来ました。

さらに、解剖実習では矯正歯科治療において重要な顎関節に対しても様々な角度で解剖し理解するための貴重な体験をする事ができ、専門分野である矯正治療の知識を深めるためにも有用な実習でした。

日々の診療にフィードバック

ひるま矯正歯科では、患者さんの歯を守るためにメインテナンスが歯科医療における最も重要な基礎と考えますが、メインテナンスの効果も最大限にするために質の高い治療を提供する事が、これからの歯を守る歯科医療の両翼と考えています。そのためには、常に世界の最新かつ科学的根拠に基づく治療に触れ学び研鑽を続け、日々の診療にフィードバックする事が重要であると今回の研修に参加して改めて思う事が出来ました。これからもメインテナンスと質の高い歯科治療でひるま矯正歯科に通っていただく皆さんの歯を守るためにがんばります！

鮮やかな解剖手技に感動！

一般歯科担当医 晝間直未

院長とともにオマハでの研修に参加してきました。海外研修は、アメリカのヒューストン、ドイツのケルンに次いで3回目になります。

今回の研修は3日間で、最初の2日間は、頭部の解剖学の講義と実習・CT画像の特徴を学び、最後の1日は、クレイトン大学にて実際の頭部を用い解剖実習を行いました。

教科書通りではない！

クレイトン大学のノートン教授の解剖実習書をもつて日本で購入し学んでいた私は、実際目の前でノートン教授に解剖していただきとても感動しました。治療の際に気をつけなければならぬ神経1本1本を丁寧に鮮やかな解剖手技で私たちに見せてくださり、知りたかった神経の走行がとても良く解りました。解剖を行ってみると、人それぞれに個人差があり神経の入

り口・出口の場所や大きさも教科書通りではありませんでした。例えば下顎の親知らずの抜歯の際、下顎の奥にある下顎孔付近に麻酔をしますが効く時と効かない時があります。効かない時は、「どうして? 同じように行っているのに」と戸惑うことがありました。実際、解剖をするとそれに骨格の違いもあり、部位もそれぞれに違いがあり、個々の患者さんに合わせた治療が必要なのが解りました。

疑問が解決、頭がクリアに

帰国してからの治療では、「この麻酔が効かないときはこちら側から効かせよう!」とか、「この痛みはどうしてもしようがないので患者さんにきちんと説明しよう!」など今までの色々な疑問が解決し頭がクリアになりました。片道12時間という長旅でしたが、参加してとても良かったです。

研修で学んだことを来院して下さった患者さんに最大限にフィードバック出来ればと思っています。



ノートン教授による解剖学の講義



クレイトン大学歯学部



解剖実習開始前



解剖実習中